

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年12月12日(月)～令和4年12月18日(日)〔令和4年第50週〕の感染症発生状況

第50週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

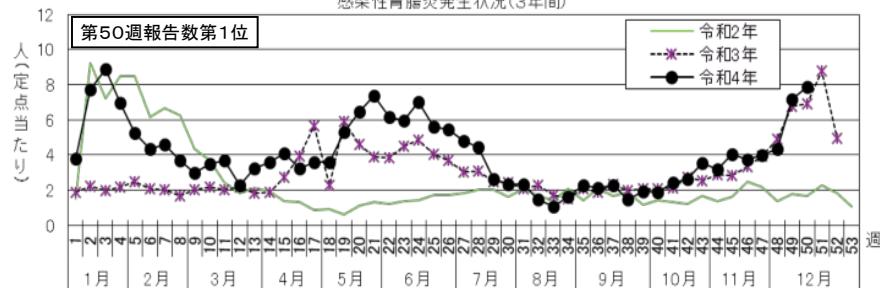
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.86人と前週(7.16人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は1.64人と前週(0.46人)から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.35人と前週(0.46人)から減少し、例年より低いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

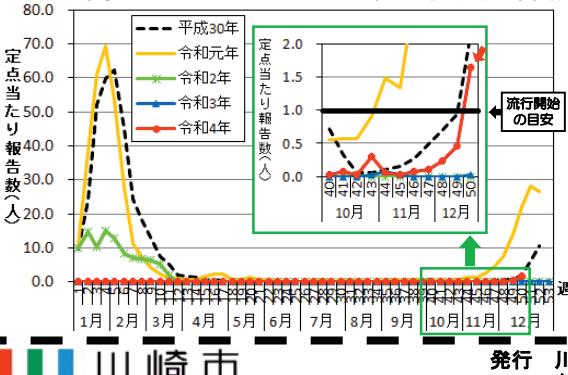
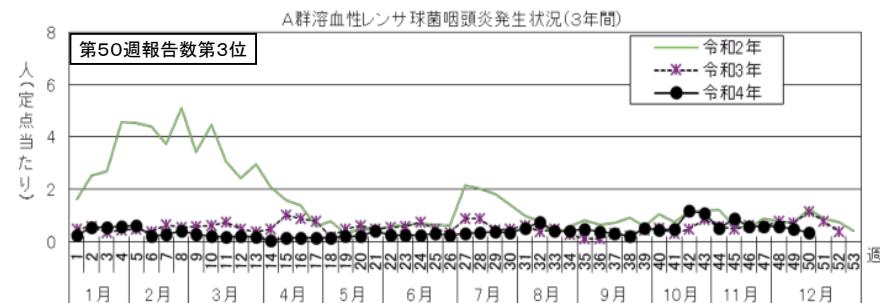
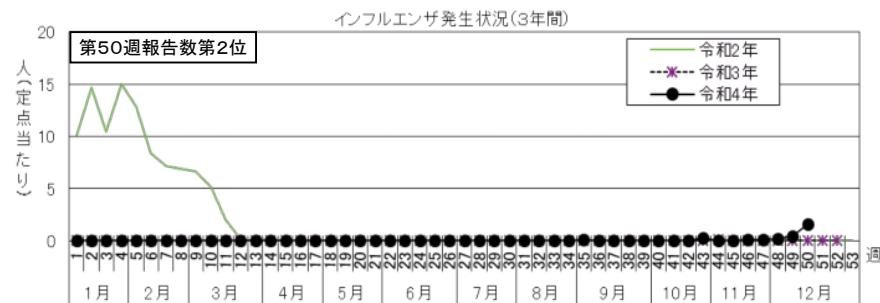


## インフルエンザが3年ぶりに流行期に入りました！

川崎市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は、令和4年第50週(12月12日～12月18日)に1.64人となり、令和元年以来3年ぶりに流行開始の目安である1.00人を超えるました。新型コロナウイルス感染症の流行以降、インフルエンザの報告数は激減していましたが、今年は10月頃から報告数が増加しています。

今後、インフルエンザの感染拡大が予測されるため、川崎市では、高齢者を対象としたインフルエンザ予防接種を令和5年1月31日まで延長しています。早めの接種を御検討ください。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況(5年間)



川崎市  
KAWASAKI CITY

### 高齢者を対象とした定期のインフルエンザ予防接種

#### ◆対象者

川崎市内に住民登録があり、接種を受ける御本人が接種を希望している方のうち、次の①又は②にあてはまる方  
①令和4年12月31日時点で65歳以上の方  
②令和4年12月31日時点で60歳～65歳未満の方で

- ・心臓、腎臓、呼吸器の機能障害（障害1級程度）のある方
- ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害（障害1級程度）のある方

#### ◆実施期間と回数

令和4年10月1日～令和5年1月31日の間に1回

#### ◆接種を受けられる場所

川崎市予防接種個別協力医療機関  
(市が指定した市内約680か所の医療機関)

#### ◆自己負担額

無料